

平成29年1月13日

(公社)全日本トラック協会青年部会による
熊本地震被災者支援について
(南阿蘇村、益城町の小学校への湯たんぽ、防犯ブザー寄贈)

(公社)全日本トラック協会青年部会(山本明徹部会長)は、1月13日(金)、昨年4月に発生した熊本地震の被災者を支援するため、同地震で特に甚大な被害を受けた益城町、南阿蘇村の教育委員会を通じ小学生(益城町5校:2,100名、南阿蘇村5校:約500名)に湯たんぽと防犯ブザーを寄贈した。本支援は、全国の青年経営者からの義援金を原資に実施したもので、昨年8月には地元プールを無料開放し、子供たち約2千人を招待している。

各寄贈式には青年部会より山本部会長、宮原章彦副部会長、熊本県トラック協会青年部会 永井雄大郎部会長が出席。

南阿蘇村教育委員会で行われた寄贈式では、山本部会長が「昨年4月の地震後、全国の青年経営者から義援金を集め、8月にはプールを無料開放し、被災地の子供たちに笑顔をお届けした。今回は更に子供たちに安心・安全の気持ちを取り戻してもらうため、湯たんぽ、防犯ブザーを寄贈したい。」と挨拶し、南阿蘇村教育委員会 藤岡孝輔教育長に湯たんぽ、防犯ブザー(目録)を寄贈した。寄贈を受け、藤岡教育長は「地震直後はトラックには救援物資輸送にご尽力いただいた。現在は子供たちの心のケアが重要な時期なのでありがたい。」と謝辞を述べた。

続いて行われた益城町教育委員会での寄贈式でも、山本部会長の挨拶の後、益城町教育委員会の酒井博範教育長に湯たんぽ、防犯ブザー(目録)を寄贈した。酒井教育長は「寒い時期なので子供たちや保護者の皆さんは大変喜ばれると思う。感謝を申し上げたい。」と謝辞を述べた。



南阿蘇村教育委員会での寄贈の様様
(左から永井熊ト協青年部会長、藤岡教育長、山本部会長、宮原副部会長)



益城町教育委員会での寄贈の様様（右が酒井教育長）

以上